

# うらもと えき まえ なかしゆく **■対策実施区間の評価事例【No. 137 国道8号 浦本駅前交差点～中宿バス停前交差点】**

## Plan

### 問題の把握と対策立案

- 細街路出入り車両の急な減速・停止に後続車の対応が遅れたと考えられる追突事故が発生。
  - 路上駐車車両を追い越した際に、正面衝突事故が発生。
- ⇒ **ドットライン設置**



## Do

### 対策実施（R6年度）



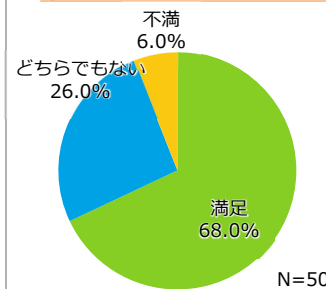
## Check

### 効果の検証

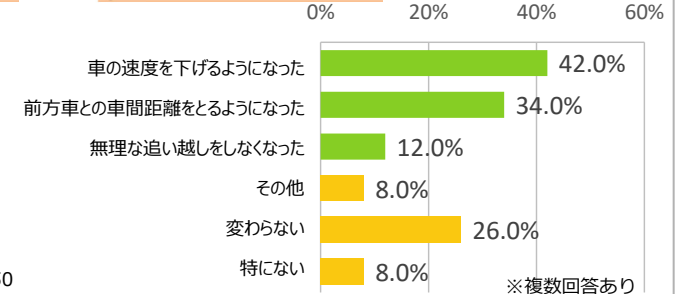
#### <道路利用者の評価>

- ・道路利用者に対策の満足度をアンケートしたところ、**約7割**が満足と評価。
- ・特に、車の走行速度を下げたようになったとの意見が多い。

#### ◆ 対策の満足度 (R7)

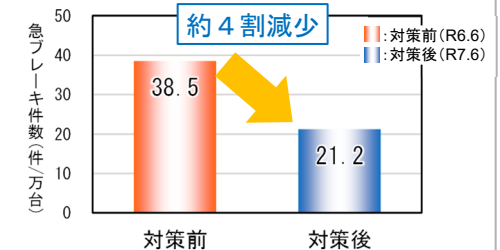


#### ◆ 対策後に感じたこと



#### <車両挙動の変化による評価>

- ・対策実施区間の急ブレーキ件数が減少(**約4割減少**)
- ⇒ドットラインにより**注意して走行する**ようになり、**安全性が向上**。



#### <所轄警察による評価>

#### ◆ 警察署ヒアリング (R7年9月)



- ・視覚的に変化を与えるドットラインは注意喚起として効果的と考えられる。
- ・対策後、目立って事故も発生しておらず、現状、対策の効果が得られており、追加対策も必要ないと考えられる。

## Action

### 進捗状況の判定

車両挙動の変化や、道路利用者アンケート、所轄警察ヒアリングより一定の対策効果が認められた ⇒ **対策完了**

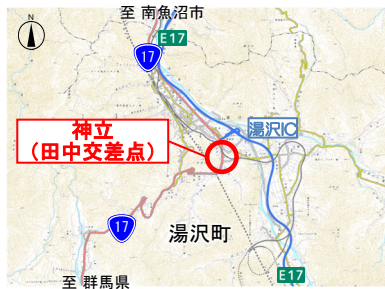
# ■対策実施区間の評価事例【No. 392 国道17号 神立(田中交差点)

## Plan

### 問題の把握と対策立案

■南魚沼市側から下り勾配となっており、速度超過及び冬期路面凍結の影響により、左折車両、出入車両(細街路、交差点通過後のコンビニ)の減速・停止に対応できず、追突事故が発生。

⇒**ドットライン、注意喚起路面表示**



選定時事故データ(H27~H30)  
・死傷事故件数 **0.5**件/年  
・死傷事故率 **228.7**件/億台km

左折車等の減速・停止車両に対応できず、追突事故発生

## Do

### 対策実施(R6年)



ドットライン  
(R6年7月)



注意喚起路面表示  
(R6年7月)

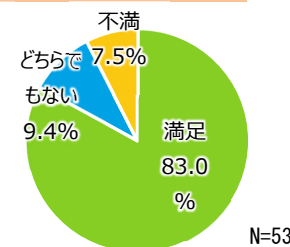
## Check

### 効果の検証

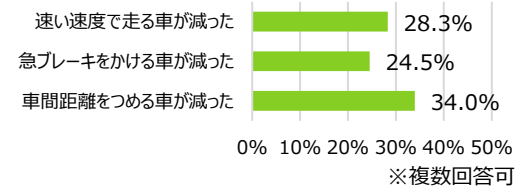
#### ＜道路利用者の評価＞

・道路利用者に対策の満足度をアンケートしたところ、**約8割**が満足と評価。  
・特に車間距離の確保について評価が高い。

#### ◆ 対策の満足度(R6)



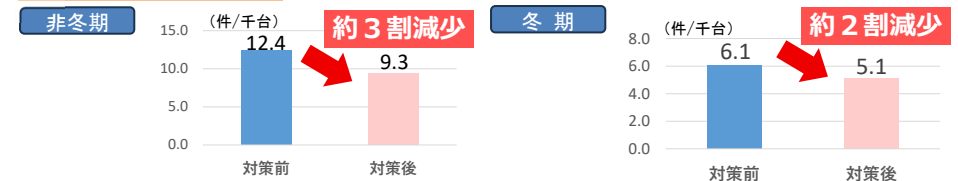
#### ◆ 対策による効果



#### ＜車両挙動の評価＞

・対策実施箇所の急ブレーキが、非冬期で**約3割減少**、冬期で**約2割減少**。

#### ◆ 急ブレーキ件数



#### ＜所轄警察による評価＞

#### ◆ 警察署ヒアリング(R7年9月)



・対策後、冬期以外の事故は減ったが、冬期に4件(物損3件、人身1件)のスリップによる追突事故が発生している。

## Action

### 進捗状況の判定

危険挙動やWebアンケートでは対策効果は確認できたが、冬期の追突事故が対策後も発生している⇒ **経過観察**



# しなのがわおおはしにしづめ おおのまち **■対策実施区間の評価事例【No. 24 国道8号 信濃川大橋西詰交差点～大野町交差点】**

## Plan

### 問題の把握と対策立案

- 渋滞が起因した追突事故が多発。

⇒ **交差点改良(左折導流路改良や右折車線延伸等) (R1.12設置)**



選定時事故データ(H17～H20)  
 ・死傷事故件数 **7.50**件/年  
 ・死傷事故率 **513.5**件/億台km



前方車両の急な停止に  
 後続車が対応に遅れる

## Do

### 対策実施 (R1年)



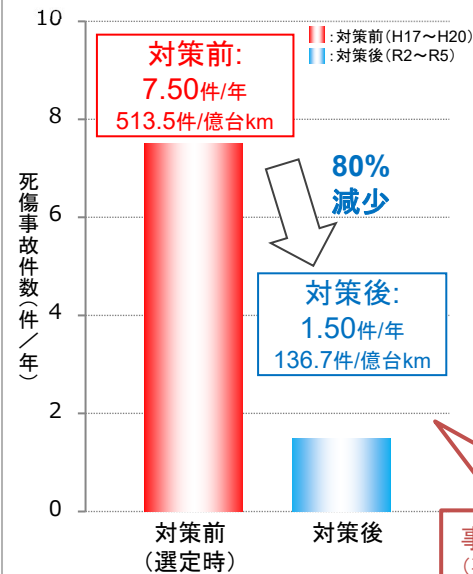
## Check

### 効果の検証

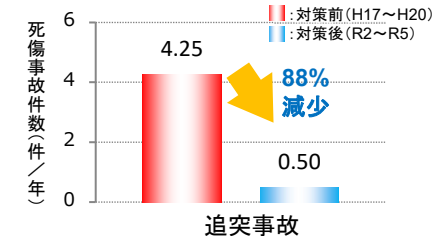
#### ＜事故データによる評価＞

- ・対策実施後、死傷事故は減少。  
(対策前7.50件/年→対策後1.50件/年 **80%減少**)
- ・対策後の事故データは「事故データに基づく選定条件」に**該当**。

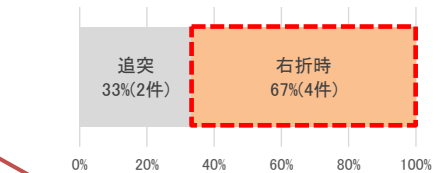
#### ◆ 対策前後の事故件数



#### ◆【参考1】卓越事故の事故件数変化



#### ◆【参考2】R2-R5事故類型割合



事故データに基づく選定条件  
 (事故件数 1.5件/年以上かつ  
 死傷事故率 100件/億台km以上)に  
**該当する**

## Action

### 進捗状況の判定

- 対策後の事故データが「事故データに基づく選定条件」に該当する。  
⇒ **要追加対策**